

住民向けワークショップ

概要

- 担い手不足や財政的な問題による交通サービスの維持が困難である状況を踏まえ、地域住民に5～10年後の島の暮らしをイメージしてもらい、島内における課題を認識してもらう。
- また、課題解決のために住民一人ひとりが自分事として考え、どういったサービスが必要か、どのように協力できるのかといった行動変容を促すことを目的として、住民ワークショップを実施した。



■チラシ（A4片面カラー）

第1回 (意見交換会)
多良間村×沖縄県
みんなで創る島の暮らし(交通)
2024.9.17(火)
朝の部：10:30～12:00
昼の部：13:30～15:00
夜の部：19:00～20:30
ご都合の良い時間にお越しください。
場所：多良間村コミュニティセンター

多良間村と沖縄県は、島で住み続けられる環境整備の一環として、島の移動サービスの集約や、島の暮らしにあった自動運転サービス導入等について、地域のみならず一緒に取り組んでいきたいと考えております。ぜひ、意見交換会にご参加いただき、みなさまの“声”をお聞かせください。

バスの老朽化
運転手不足
このまま大丈夫？
免許証更新後の買い物
どうなるんだろう？
「自動運転」って
どんなモノ？

多良間村 総務財政課 ☎お問合せ 0980-79-2011
沖縄県 企画部 交通政策課 ☎お問合せ 098-866-2045

■リーフレット（A3両面2つ折りカラー）

多良間島の課題
5～10年後の島！
Cは思いどおりの課題
● 高齢者の高齢化、若者の減少により、行先バスが少なくなる
● 高齢者の高齢化、若者の減少により、行先バスが少なくなる
● 高齢者の高齢化、若者の減少により、行先バスが少なくなる

多良間島の課題
5～10年後の島！
Cは思いどおりの課題
● 高齢者の高齢化、若者の減少により、行先バスが少なくなる
● 高齢者の高齢化、若者の減少により、行先バスが少なくなる
● 高齢者の高齢化、若者の減少により、行先バスが少なくなる

課題の解決に向けて
● 自動運転の導入を検討！
費用を抑え、持続可能なサービスを実現！
● 自動運転の導入を検討！
費用を抑え、持続可能なサービスを実現！
● 自動運転の導入を検討！
費用を抑え、持続可能なサービスを実現！

今後の流れ
● 令和6年度 ルールづくり・カート実証実験
● 令和7年度 自動運転の実証実験
● 令和8年度 移動サービス本格運行
● 令和9年度以降 自動運転の無人化

開催実績

- 第1回 令和6年9月17日（午前、午後、夜の計3部）
テーマ：島での移動に関する課題、自動運転の必要性
- 第2回 令和6年10月18日（夜の部のみ）
テーマ：自動運転導入のために必要な協力について
- 第3回 令和6年11月6日（午前1部、午後2部の計3部）
テーマ：自動運転サービスの走行ルート、便数、協力内容
- 第4回 令和6年12月16日（午前1部、午後2部の計3部）
テーマ：走行ルート、便数、協力内容の決定
- 第5回 令和7年2月6日（午前1部、午後2部の計3部）
テーマ：自動運転バス実証実験の事前説明と自動運転カートのルート変更案等について

住民向けワークショップ

- 低廉かつシンプルな自動運転サービス導入に向けて、住民に対してルールや協力内容を説明し、それに対する意見をいただいた。
- 住民とのディスカッションを通して、取組に対する理解を深めていただき、協力への意識醸成を図ることで、自動運転導入の実現へ繋げる。



多良間島の将来を見据えて 2

全国の自動運転は**高コスト**が課題！
沖縄県では「**低廉かつシンプル**」な自動運転を目指しています。

止まるだけ
停止だけの機能で低廉に！

低廉かつシンプルな自動運転	自動運転車両を優先（歩行者）	自動運転車両を優先（一般車両）
避ける機能が無い！ 止まるだけ！ 動けない…	自動運転来たね！ 一旦止まろ！	自動運転来た！ 一時停止でゆずろ！

多良間島の将来を見据えて 3

★自動運転導入で変わること等

①便利になること

- 村営バスが新しく！
- カートで集落内を移動！
- 将来は運転手が居なくても、誰もが安全に移動できるようになります

②一部不便になること

- バス停留所のみ乗り降り可能
- 走行ルート上では、自動運転車両の走行を優先（路上駐車はできません）
- バスとカートで乗り換えが必要になります
- 自動運転バスやカートはゆっくり走行（安全重視）

現在よりも「一部不便」は生じるが、
持続可能な『島内の移動手段』が確保できる

住民向けワークショップ

ワークショップで頂いた主な意見

現状の 移動手段	【移動全般】 車は1人一台所有、ほとんど車で移動	【バス】 - バス利用は2年に1回ぐらい - バス停に行くまでが大変
移動の 困りごと	【買い物・通院】 - 自分は困っていないが、高齢者は周りに頼れる人がいないと大変 - 高齢で買い物に困っている人がある 1人暮らしのお年寄りは困っている	【移動の選択肢】 - バスは空港と港しか行かない（車がないと畑・買い物に行けない） - 免許返納した後の支援がない - 離島割航空券の窓口は空港のみ。
要望	【移動手段として】 - 免許返納後も畑に行きたい 1人暮らしのお年寄りのためにも移動サービスが必要 - 車椅子利用者が増えているので、車椅子対応ができると良い - 家まで送迎して欲しい - 使いたい時間に来て欲しい - 段差がない等の乗りやすさも重要 （路駐で自動運転が止まらないように）診療所・農協・スーパー前の駐車場が必要	【来訪者の視点】 - 島外から来る人のためにもバスはあった方が良い 【機能】 - バスで荷物も運んで欲しい - 高齢者の楽しみとしてバスを活用 - 停留所に屋根とベンチがあれば、待つ間におばー達が休めてゆんたくできる。停留所が憩いの空間として認知されると、停留所まで歩くようになる - 空港の駐車場を一定（期間・時間）以上有料にする（車利用を減らし、バス利用を促進するため）

